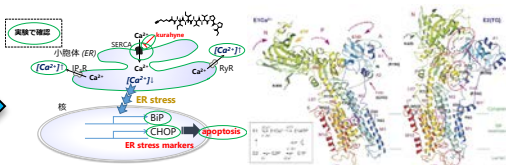
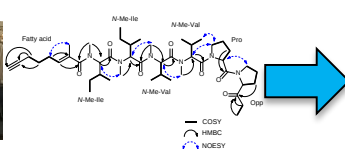




海洋生物から薬のもとを探す

研究の概要



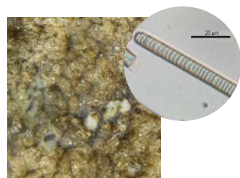
フィールドでの生物採集

新しい生物活性物質の発見

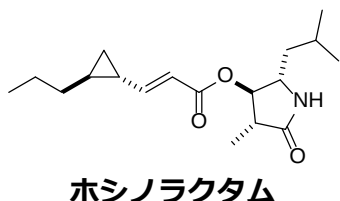
医薬品・機能性素材への応用

新しい生物活性物質の発見が、様々な科学分野に画期的な進展をもたらすことがあります。私たちのグループでは、このような生物活性物質を自然界から単離し、その構造を解明します。さらに、これらの物質の化学合成による供給法開発や、作用機構の解明を目指した研究を行います。

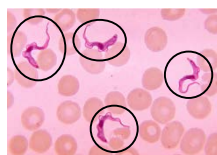
シーズ1：熱帯病原虫の増殖を抑える物質



海洋シアノバクテリア
Oscillatoria sp.



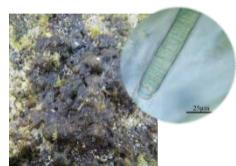
ホシノラクタム



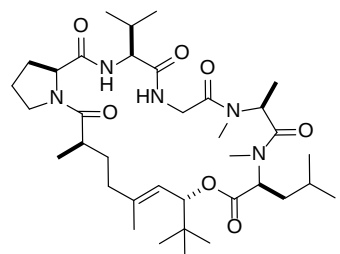
トリパノソーマ原虫



アフリカ睡眠病蔓延地域



海洋シアノバクテリア
Okeania sp.



ジャナドライド

毒性を示す濃度 (IC₅₀)

物質名	病原寄生虫	ヒト正常細胞
ホシノラクタム	3.9 nM	>25000 nM
ジャナドライド	47 nM	>70000 nM
スラミン ^a	1200 nM	>77000 nM
ペンタミジン ^a	4.7 nM	16800 nM

^a 既存薬

⇒ 私たちが発見した物質は、ヒト正常細胞に毒性を示すことなく、既存薬と同等か、それ以上の抗寄生虫活性を示した。

研究者名

化学科・基礎理工学専攻 教授 末永 聖武(すえながきよたけ)

お問合せ先

e-mail: suenaga@chem.keio.ac.jp TEL: 045-566-1820
Homepage: <http://user.keio.ac.jp/~suenaga/>

